

2021 年度 研修終了報告

講座名：2021 年度 C2.C3 シミュレーションエクササイズ

実施日：C2.大森病院 2021 年 9 月 1 日（水） 12:00～16:30

大橋病院 2021 年 9 月 8 日（水） 12:00～16:30

佐倉病院 C3.と統合実施（10 月 20 日）

C3.大森病院 2021 年 10 月 06 日（水） 12:00～16:30

大橋病院 2021 年 10 月 13 日（水） 12:00～16:30

佐倉病院 2021 年 10 月 20 日（水） 12:00～16:30（C2.と同時開催）

インストラクター：

大森病院；小野澤圭子・新田幸徳・佐藤みえ

大橋病院；稲毛直子・田所俊一・須郷恵美

佐倉病院；黒沼佐与子・原田洋平・大場睦

参加者：C2.大森 8 大橋 6 佐倉 2 計 16 名

C3.大森 7 大橋 4 佐倉 2 計 13 名

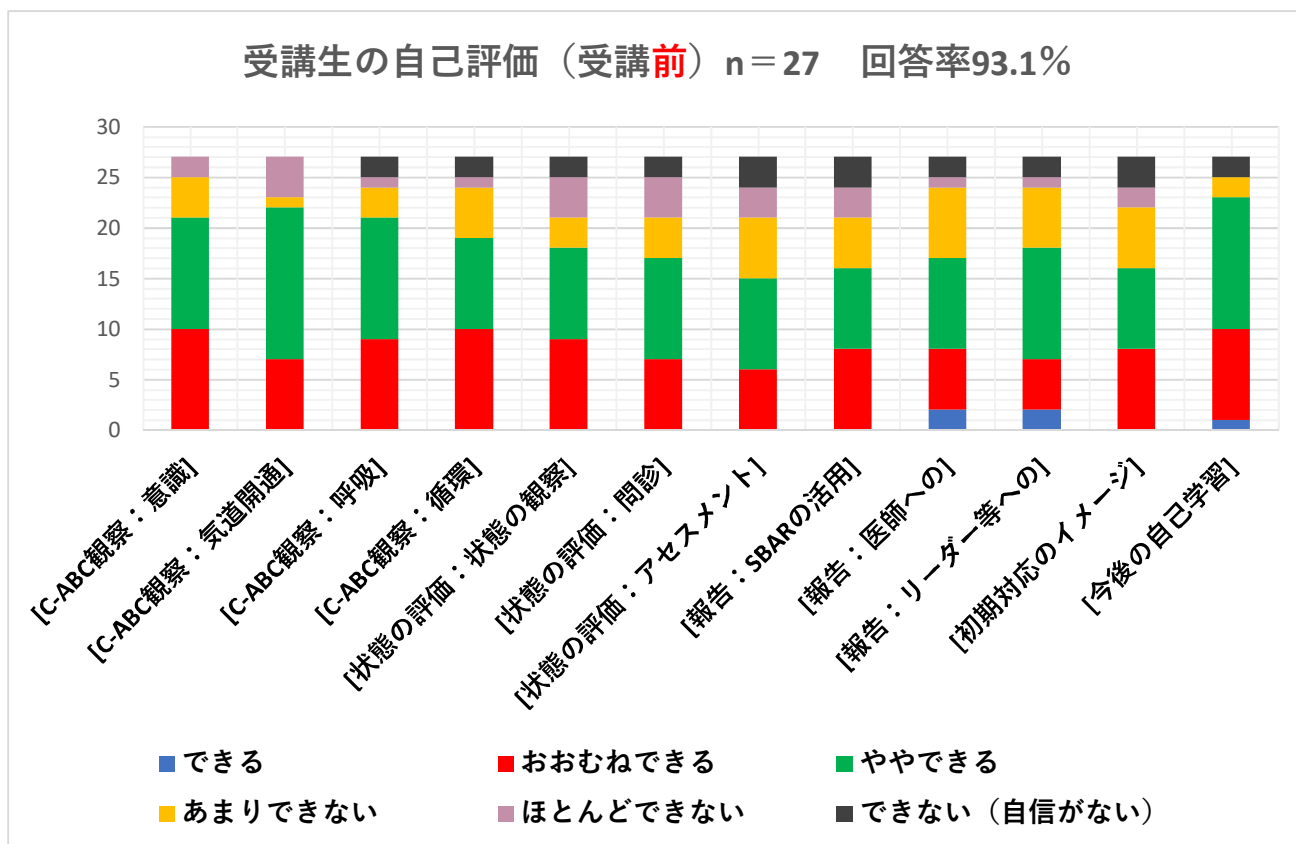
方法：対面（大森⇒看護学部 大橋⇒大橋病院 佐倉⇒佐倉教育研修センター）

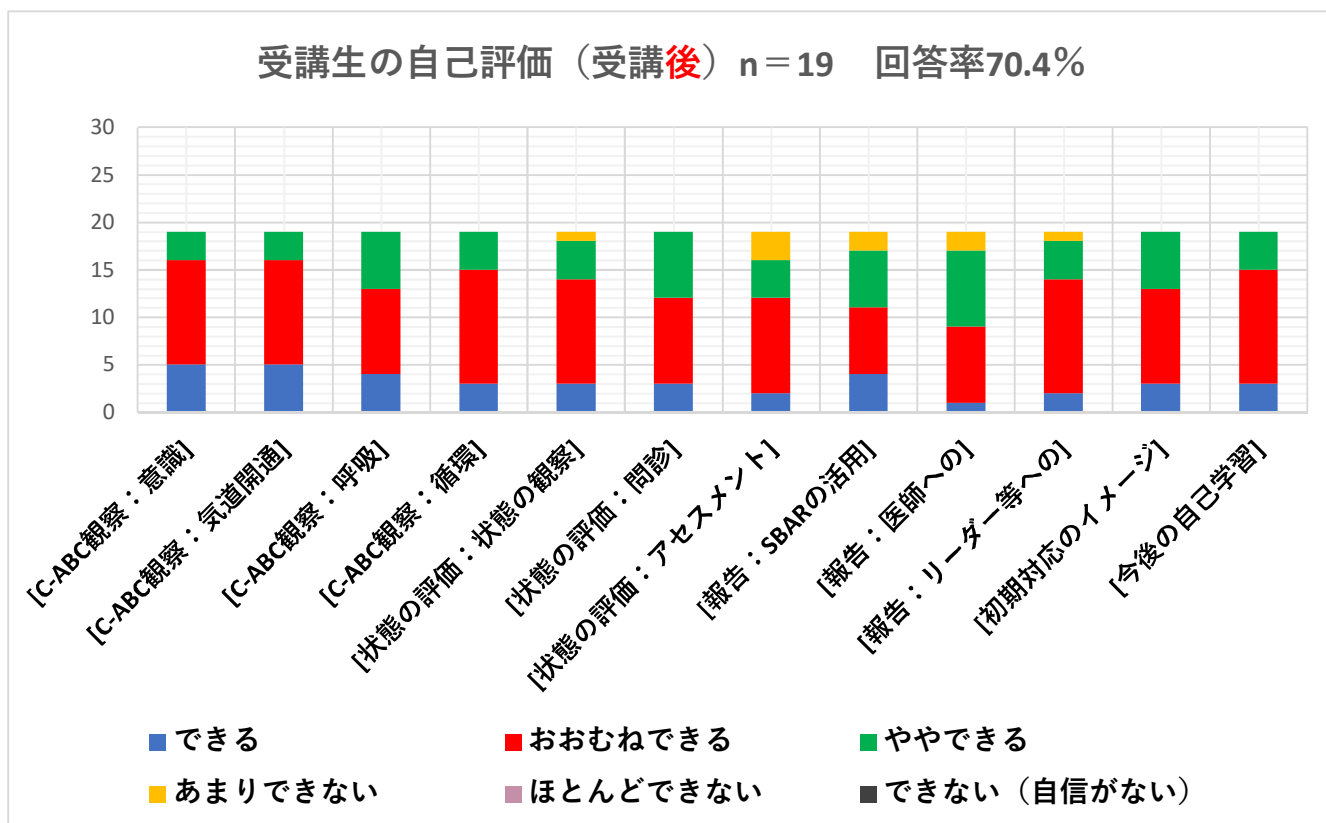
目標 ①急変につながる兆候に気づくための系統的な観察・評価の理解を深める

②迅速評価・一時評価の報告、初期対応に対して冷静に考え、余裕を持って取り組むことができる

③行動パターンを客観視し、実践力向上のための自己学習について考えることができる

【受講生アンケート結果（抜粋）】





【学びになったこと（抜粋）】

- ・初期対応で何を行ったら良いのかとても分かりやすく学ぶことができました。医師への報告の仕方も勉強できたので、今後実践していきたいです。
- ・qSOFA や CABC などアセスメントや報告するための評価指標やツールを学ぶことができました。
- ・就職してからコミュニケーションツールは研修で知っていたが、まだ上手く活用出来ていないこと、また正確・端的に緊急度を報告するための効果的なツールであると改めて実感しました。血内では敗血症ショックが多いが、qSOFA という指標があることを知れたことが収穫でした。今回の研修を機に再度学び直す必要があると思いました。
- ・レベルが低下してる時に結構血圧を気にしていたが、呼吸状態の方が大切な評価であることが自分の認識と相違があり興味深かったです。
- ・報告の方法の理解が深まった
- ・急変時の評価方法についてとても学びになりました。
- ・実事例で、自分でやってみて、動きがわかったので、業務の中でも実践していきたいと思います。
- ・フィジカルアセスメントの重要性を再確認しました。今後も磨いて行きたいです。
- ・何度も繰り返し演習できたのがよかった。
- ・病態や観察ポイントそれをどのようにアセスメントして報告するか、そして必要な看護はなにかコミュニケーションや自己学習を通して学ぶことができ、CABC の重要性について理解することができた。
- ・モニターの数値だけが全てではないと再認識できた。

【意見・感想など（抜粋）】

2021 年度 研修終了報告

- ・何度も繰り返しやることで頭にも体にも入ってきました。チームでよりよい医療を提供できるように頑張ります。ありがとうございました。
- ・講師の方と振り返りを行いながら 1 人ずつしっかり実践することができ、緊張はしましたが、回数を重ねるごとに自信を、もって実践することができたと思います。学んだことを実際の現場で活かしていくことができるように勉強していき、意識して CABC を行なっていきたいと感じました。ありがとうございました。
- ・初めての受講でとても緊張しましたが少人数で指導してもらいながら多くのことを学べて良かったです。今後の患者さんとの関わりの中で使っていけるようにしたいと思います。
- ・わかりやすく楽しい研修ありがとうございました。
- ・今回は ACLS までの研修等もあれば参加したいです。
- ・少人数で質問しやすくて良かったです。

【まとめ】

本講座は、2021 年度唯一の対面形式の講座でした。コロナ禍であることを踏まえ、3 つの病院ごとの開催としました。講座では、受講者 3 名に対し 1～2 名のインストラクターを配置し、迅速評価 (CABC) や急変に至る前の早期患者対応を盛り込んだシミュレーション、肺塞栓・敗血症性ショックの講義、TeamSTEPPS の講義・演習を実施しました。タイトなスケジュールでしたが、受講生は楽しく、真剣に学びを深めていました。

紙面の関係でアンケート結果は限定的に提示していますが、アンケート回答者の 9 割以上が本講座を「非常に満足」「満足」と評価していました。また、今年度は講座受講前・後で「CABC の実施」「患者状態評価」「初期対応のイメージ化」「今後の自己学習の可否」などの自己評価をしていただきました。自己評価の結果では、受講前に「できない (自信がない)」「ほとんどできない」と自己評価していた項目がありましたが、受講後は「できない (自信がない)」「ほとんどできない」項目は無くなり、全体的に「できる」「概ねできる」「ややできる」の回答が増加していました。アンケートのコメントも踏まえ、本研修の目標は達成されたと評価しています。